

第二十五回隠岐後鳥羽院大賞 俳句部門 入賞作品

大賞

春闇の楸邨の息院の息

神奈川県 前島康樹

石 寒太選特選

春闇の楸邨の息院の息

神奈川県 前島康樹

稲畑廣太郎選特選

※該当作品は選考後に二重投稿が判明したため削除いたしました

宇多喜代子選特選

隠岐島島それぞれに雲の峰

滋賀県 赤木章嗣

小澤 實選特選

秋の虹御火葬塚に礼なせば

東京都 川又憲次郎

海士町長賞

潮焼の父の操る渡し船

島根県 吉浦増

西ノ島町長賞

楸邨の句碑立つ杜の五月闇

島根県 山根一枝

知夫村長賞

白南風や島の教員たりし母

島根県 吉浦増

角川「俳句」編集部賞

隠岐島島それぞれに雲の峰

滋賀県 赤木章嗣

島うた歳時記賞

噴水の水のいただき丸くなる

岡山県 池田純子

松 籟 賞

楸邨の句碑見て仰ぐ雑木の芽

山口県 河村正浩

石 寒太選特選

風待ちのしげさ節かな夏座敷

滋賀県 赤木章嗣

稲畑廣太郎選特選

みな集ふ島の教会畳替

静岡県 及川光代

宇多喜代子選特選

牛冷やす夕映色の隠岐の海

神奈川県 塚本治彦

小澤 實選特選

秋風や負け牛の眼に空蒼く

愛知県 海神瑠珂

石寒太選入選

マスクとり島の御陵に手を合わす	京都府	十川	長峻
潮焼の父の操る渡し船	島根県	吉浦	増
楸邨の句碑立つ杜の五月闇	島根県	山根	一枝
島人の言の葉やさし夏料理	島根県	山根	一枝
競市へ島牛のせる東風の船	島根県	山根	一枝
手の平に入れてこぼすや子蝟螂	新潟県	宮島	敏明
白鷺のS首見ゆる青田の中	岡山県	井上	幹彦
旅人の声に仔馬の跳ね上る	山口県	永田	芳子
移住して教はる島の踊唄	千葉県	中村	智善
白南風や島の教員たりし母	島根県	吉浦	増
いと小さき隠岐山椒魚見つむ	滋賀県	赤木	和代
後鳥羽院探してをりぬ歌留多とり	東京都	御邊	道子
漁火のいつか夜長の灯となりし	島根県	木幡	俊夫
上皇の手印大きく夏に入る	神奈川県	陌間	みどり
楸邨の句碑見て仰ぐ雑木の芽	山口県	河村	正浩
どの石も朝の露置く神の石	神奈川県	畑	昌子
島挙げて恩師見送る隠岐波止場	千葉県	奥村	利夫
飛魚干して母は一生島を出ず	千葉県	奥村	利夫
故郷も旅の一つや秋の隠岐	兵庫県	松井	ゆう子
留学の子の帰る日や福寿草	千葉県	杉	まろん

石寒太選佳作

故郷の海鳴りを聞く帰省かな

岡山県

池田 純子

黒々と隠岐を置きたる吹雪かな

岡山県

貞住 昌彦

勝ち牛の背に乗る若衆天高し

島根県隠岐郡海士町

永海 尚二

牛突きの一瞬の黙青嵐

奈良県

上田由姫子

牛突きの牛の涙や秋深し

宮崎県

疋田恵美子

海渡る隠岐の黒牛木の芽風

佐賀県

大石ひろ女

火葬塚にあまた零るるひめつばき

兵庫県

瀬崎こまち

一つ落ち二つ零るる式部の実

岡山県

右田 清美

桐咲くや四股名たまはる島の牛

京都府

古野由美子

島と島つなぎ小春の連絡船

兵庫県

小柴 智子

八百杉の洞に赤き実なかまど

東京都

嶋田 恵一

芽起こしの風にさざなみ日本海

富山県

不破 元之

しげさ節覚えて島の秋惜む

大阪府

阪野 雅晴

花八手ふぐりゆたかに島の猫

兵庫県

酒井多加子

欠航の決まりし海へ冬の月

東京都

菊田 和音

あさぼらけ二度目の冬の島ぐらし

静岡県

及川 光代

院の和歌楸邨の句の島や秋

千葉県

伊藤 航

闘牛の小さき鼻輪や天高し

大阪府

濱田 昭

だしぬけに海猫啼く磯の初明り

福島県

吉原 瑞雲

小鳥来る遠流の島の留学生

千葉県

斉藤 駿馬

稲畑廣太郎 選入 選

上皇の遺せし涙露しとど

山口県

永田 芳子

帰省子の直ぐに馴染むや島言葉

滋賀県

吉田 邦子

生物の息の色足す夏の海

岡山県

池田 純子

秋天の笈返らぬ島の沖

島根県

谷村美都子

噴水の水のいただき丸くなる

岡山県

池田 純子

一閃は散華怒濤へ星流る

東京都

関根 桃里

潮騒を海鳴り覆ふ島の夏

東京都

佐藤 春夫

牛の眼の青くぬれたる春の月

東京都

羽住 博之

猫じゃらし子らの帰りをゆれて待つ

栃木県

小杜 芳野

果つること知らず風花生まれけり

大阪府

津田 明美

鼻先に牛の顔ある夜なべかな

大阪府

讓尾三枝子

隠岐の島霧を分け行く牛の声

兵庫県

奥井 瑩子

ゆどうふのかどにほどける夜更けかな

愛媛県

南 紀美子

はんなりと舞ひ初む隠岐の黒揚羽

大分県

為成 央子

島影の銀波のかなた星月夜

山形県

富樫 佳子

松林余白を霧のつくりけり

大阪府

今仁 徹

島ひとつ満開にして桜咲く

島根県

上川紗央里

初御空波が育てる隠岐島

神奈川県

三玉 一郎

飛魚や島見えて息ふかくなる

神奈川県

信太 蓬

漕ぎだせば点る自転車神の留守

神奈川県

宮崎 玲子

稲畑廣太郎 選佳 作

隱岐航路煙る卯の花腐しかな	島根県	吉浦 増
旅人の声に仔馬の跳ね上る	山口県	永田 芳子
後鳥羽院なぐさめと聴く時鳥	秋田県	岡部いさむ
特攻碑抱く島陰や雲の峰	宮崎県	河野 正
赤白の帽子をうつし代田水	岐阜県	香田 明彦
隱岐の島をへだてる怒濤初嵐	佐賀県	栗林美津子
黒牛のたしかな威厳秋に入る	神奈川県	竹澤 聡
独り行く杜の小道や露涼し	千葉県	加藤 酔歩
香水を選びし鼻の疲れたる	岡山県	池田 純子
天高し日に一便の島フェリー	大阪府	河辺さち子
秋風や島影遠く消してゆく	大分県	吾 亦 紅
島人の秘めし火種や秋夕焼	島根県	若林 恒子
風の道風の走れる芒原	神奈川県	下村 修
進水の船首に砕く葉月潮	大阪府	讓尾三枝子
隱岐牛の潤む瞳や花野風	京都府	吉尾 薫
己が名のゴム印貰ひ卒業す	埼玉県	廣瀬 温代
夏霧や白絹羽織る島の嶺	岡山県	宮田 敏子
秋澄むや十字架抱く地藏尊	愛媛県	西田 真己
鳥渡る島に陽気なバスガイド	兵庫県	国光六四三
師と拝す御火葬塚や秋しぐれ	東京都	森山くるみ

宇多喜代子 選入 選

潮焼の父の操る渡し船

島根県

吉浦 増

赤き月あげ七月の島閑か

東京都

橋本 絢

白波はまた白波へ隠岐の夏

滋賀県

赤木 和代

楸邨の句碑立つ杜の五月闇

島根県

山根 一枝

白南風や島の教員たりし母

島根県

吉浦 増

鬪牛へ四方より寄する怒濤音

東京都

川俣このみ

一の宮潮に磨かれ新松子

島根県

小村たつ子

噴水の水のいただき丸くなる

岡山県

池田 純子

楸邨の句碑見て仰ぐ雑木の芽

山口県

河村 正浩

故郷の海鳴りを聞く帰省かな

岡山県

池田 純子

雪しずる三郎岩の照り翳り

大阪府

広瀬 徹機

人も木も斜めに張り付く冬の隠岐

千葉県

今田 素土

寒禽の声のみ響く疎林かな

大阪府

津田 明美

風の道風の走れる芒原

神奈川県

下村 修

秋茄子や自給の暮し老ひふたり

茨城県

瀬尾みよ子

進水の船首に砕く葉月潮

大阪府

讓尾三枝子

芽起こしの風にさざなみ日本海

富山県

不破 元之

八千草に降りみ降らずみ島の雨

富山県

不破 元之

赤壁の島打つ白き冬怒濤

大阪府

阪野 雅晴

宇多喜代子 選佳 作

盛衰を冬の怒濤に隠岐の島

愛知県

稲葉 京閑

防波堤廻れば姉の夏帽子

千葉県

忽那 耕三

夕焼や黒光りして隠岐の牛

愛媛県

宮部 敏博

名月や院の詠吟静聴す

神奈川県

大木百合子

去ぬ燕磯で見送る島暮らし

島根県

吉浦 増

競られたる仔牛春泥つけしまま

埼玉県

増田 信雄

犬ふぐり振り撒かれぬしやうに咲く

岡山県

池田 純子

水温む潮目のかわる魚の影

滋賀県

金沢 湖世

夏負けもせず池の鯉池の亀

茨城県

相沢正志斎

隠岐小春長くいななく岬馬

奈良県

西原かつ野

牛の眼の青くぬれたる春の月

東京都

羽住 博之

隠岐の島霧を分け行く牛の声

兵庫県

奥井 瑩子

島の子の声たくましき夏休み

東京都

橋本世紀男

流木の年輪を這う冬の蜂

兵庫県

加藤美智子

どこまでも蹤きくる牛や春夕焼

福島県

吉原 瑞雲

小春日や艶の増したる牛の尻

北海道

藤林 正則

豊の秋島前島後隠岐の国

岐阜県

成原 寂栄

楸邨の島の泉の走り蕎麦

岐阜県

成原 寂栄

隠岐相撲降る塩雨に星になり

島根県

長谷川真美

柔らかき初雪降りて隠岐の島

島根県

上川裕希子

小澤 實 選 入 選

露けしや四肢のみなきる島の牛	茨城県	平塚 利雄
摩天崖の空赤とんぼ赤とんぼ	島根県	石川 寿樹
野分あと星の綺羅めく隠岐泊り	千葉県	奥村 利夫
飛魚干して母は一生島を出ず	千葉県	奥村 利夫
勝ち牛の背に乗る若衆天高し	島根県隠岐郡海士町	永海 尚二
牛突きの牛の涙や秋深し	宮崎県	疋田恵美子
火葬塚にあまた零るるひめつばき	兵庫県	瀬崎こまち
隠岐牛のまどろむ岬秋の風	大阪府	渡辺美紀代
欠航の決まりし海へ冬の月	東京都	菊田 和音
闘牛の小さき鼻輪や天高し	大阪府	濱田 昭
月光に上皇御座す刀鍛冶	兵庫県	小東 泰子
後鳥羽院の御火葬塚や時鳥	奈良県	乾 厚子
精米したたと新米届く島の朝	東京都	かたおかまさこ
深海の目無し魚や春待てる	東京都	岡本 春水
小春日や艶の増したる牛の尻	北海道	藤林 正則
勝ち牛ぞ涎垂らして麦酒飲む	東京都	村越 敦
鳥渡る島に陽気なバスガイド	兵庫県	国光六四三
ごとばんさん守り助九郎栗拾ふ	東京都	蔵田かをり
漕ぎだせば点る自転車神の留守	神奈川県	宮崎 玲子
師と拝す御火葬塚や秋しぐれ	東京都	森山くるみ

小澤 實 選 佳 作

潮焼けの漁師の祝詞島祭り

東京都

橋本 絢

やまかがし啞え野良猫得意顔

神奈川県

鈴木 経彦

野分去り浜に重なる芥かな

兵庫県

藤原 紘一

火葬塚手向けの驟雨沖より来

大阪府

南光 翠峰

落椿落つれば少し昏き色

岡山県

池田 純子

上皇の手印大きく夏に入る

神奈川県

陌間みどり

満天の星に誘われ木々芽吹く

山口県

河村 正浩

畳表広げ飛び散る胡麻叩く

静岡県

和久田郁江

牛の眼の青くぬれたる春の月

東京都

羽住 博之

春の閨院の息楸邨の息

神奈川県

前島 康樹

雪しずる三郎岩の照り翳り

大阪府

広瀬 徹機

大漁に隠岐の傾く烏賊釣船

岡山県

岡田 邦男

消えかねて雪後の隠岐の雉のこゑ

東京都

篠原 隆子

隠岐思い冬の児島の海に手を

岡山県

岡本 児島

黒牛の背中春めく隠岐の島

熊本県

大野 敬子

春怒濤牛は無心に草を食ぶ

千葉県

伊藤 航

どこまでも躑ぎくる牛や春夕焼

福島県

吉原 瑞雲

己が名のゴム印貰ひ卒業す

埼玉県

廣瀬 温代

野糞鋤き大根蒔くや隠岐の谷戸

岐阜県

成原 寂栄

反芻の舌のぶあつし春の牛

兵庫県

中村 麻

青少年の部

第二十五回隠岐後鳥羽院大賞 俳句部門 入賞作品

石 寒太選 最優秀作品

たいようがおいかけてくるなつ休み

島根県 岩崎美空

石 寒太選 優秀作品

くじら雲ラムネの上を泳いでる 大分市立大在小学校 姫野心泉

稲畑廣太郎選 最優秀作品

へび穴に入るゆったりとゆっくりと 大分市立大在小学校 伊勢戸洸

稲畑廣太郎選 優秀作品

蚯蚓鳴く人類は火星に行くよ 大阪府 岡本龍太郎

宇多喜代子選 最優秀作品

運動会一ミリの差で二位になる 大分市立大在小学校 伊東春騎

宇多喜代子選 優秀作品

いのししのようにとっ進運動会 大分市立大在小学校 松本未緒

小澤 實選 最優秀作品

運動会一ミリの差で二位になる 大分市立大在小学校 伊東春騎

小澤 實選 優秀作品

足の裏が一番痛い寒げい古 島根県 岩崎音弥